Rotary 小樽南 ロータリークラブ会報
国際ロータリー 第2510地区 日本
The Rotary Club of Otaru South. District No.2510
Club Homepage URL http://rid2510.org/otarusouth/
●例会場/ニュー三幸 ●例会日/毎週金曜日12時30分 ●事務局/〒047-0032 小樽市稲穂1-3-6 ☎0134-33-3500

●2014-2015年度RIテーマ
LIGHT up ROTARY
ゲイリーC.K.ホァンRI会長

●第2510地区重点目標
RIテーマ「ロータリーに輝きを」を推進しよう

55年の歴史の蓄積の上に立って
ロータリーにさらなる輝きを

●再来週10月17日金のプログラム
◎社会奉仕委員会担当例会
スピーカー:遠藤 浩一 氏
(RI第2510地区社会奉仕委員会委員長・岩見沢RC)

●来週10月10日金のプログラム
◎国際奉仕委員会担当例会
「米山記念奨学会活動・職業奉仕・社会奉仕について」
スピーカー:塚原 房樹氏(PG 札幌東RC)

●今週10月5日日のプログラム
◎「地区大会」ニトリ文化ホール
本会議 AM 9:00〜

13
通巻 第2669号
2014年10月5日日発行
1960年創立
昭和35年2月5日

●第12回例会報告 9月26日金 青少年奉仕委員会担当例会「倶知安農業高校生のモンテバー開発秘話」スピーカー:脇山 潤 氏(倶知安RC)

■ロータリーソング■ 「日も風も星も」

■ゲスト・ビジターの紹介■
脇山 潤氏(倶知安RC)

■黙 祷■ 加藤会長
去る9月12日に当クラブ荒田会員ご母堂荒田れい様がお亡くなりなりました。ここに謹んでご冥福をお祈りするとともに哀悼の意をもって、黙祷を捧げたいと思います。

■会長報告■ 加藤会長
・先週の例会におきましてロータリーデーとしてポリオ撲滅募金活動を通しまして無事ポリオウィークを終えることが出来ましたご協力誠に有難うございました。引き続きまして酒田RCのみな様方をお迎えいたしまして楽しいひとときを過ごし旧交をあたため合うことができました。翌日旭川方面を周遊され無事酒田へお帰りになりご丁寧なお礼のお電話を頂戴いたし小樽南RC会員皆さま方にもくれぐれも宜しくとのことでした。
・小樽青年会議所より先般開催いされた北海道地区協議会地区大会小樽大会への協力のお礼状が届いております。
・本日今夕は、歴代会長会議が開催されますのでよろしくお願い申し上げます。
・来週10月5日(日)は「地区大会」が開催されます集合時間・集合場所等お間違えのないようお願い申し上げます。当日は小樽ナイトも計画いたしております多数のご参加をお待ち申し上げます。
・本日は、軽食デーです差額を8月の「豪雨災害」の義援金とさせていただきます。

■幹事報告■ 工藤幹事
・例会変更のお知らせ
小樽RC 10/7(火)休会
岩内RC 10/2(木)休会
10/9(木)点鐘 PM6:30 会場 千成
・地区大会バス搭乗者の会員みな様へ
10月5日(日)午前7時30分
集合場所:旧グランドホテル前

■委員会・同好会報告■
◎ロータリー財団委員会 高木(正)委員長
9/19(金)運河プラザ公共前広場募金活動報告
加藤会長はじめ22名の会員が参加20,078円の募金が集まりました。また夜間例会場で加藤会長よりと当日参加会員(32名×1,000円)合わせまして合計62,078円となりました、これに加えましてチャリティゴルフ大会での募金金額が加わります。夜間例会等でご欠席の会員の方がおられまた「ポリオバッチ」が無い会員の方は「募金箱」をご用意いたしておりますのでご協力のほどお願い申し上げます。

◎ゴルフ同好会 福島会員(ゴルフ同好会会長)

・第4回ゴルフ例会をチャリティコンペといたし貴重な浄財(62,400円)を頂戴いたし、また米山会員が9/19の夜間例会終了後夜の花園界隈を募金箱を下げて徘徊?し募金箱(10,866円)を回収させていただき合わせまして合計73,266円となり本吉会計へお渡しいたしまして使い道は理事会で決めていただければと存じます。
・10/18(土)開催のゴルフ例会は「納会・福島杯(南RCゴルフ同好会会長杯)」となります。当日午後6時より花園町「たじま」にてゴルフ同好会納会を開催いたしますが詳細につきましては後日再度お知らせいたします。

◎第19回文化セミナー開催のお知らせ 工藤会員

■例会プログラム

「倶知安農業高校生のモンテバー開発秘話」

ニセコモンテバー開発と販売を通じた青少年育成

倶知安 RC　脇　山　　潤 氏

倶知安では毎年４万トンのじゃがいもが収穫されているが、そのうちの15%＝６千トンが規格外として、流通にのらない＝収益に繋がらないものとなっている。倶知安農業高校では、そんな規格外のじゃがいもを加工する事で、新たな価値付けをしようと長年取り組んで来た。蒸かしたじゃがいもに酵素を加える事でペースト状にする特許技術を農高が開発し育んで来たが、その技術を地域産業としてこの地に根付かせたいという先生の想いを地元の企業家有志が受け止めて、２年前より活動を開始した。そのポテトペーストを永続的に製造・販売するには法人の設立が必要で、前出の企業家有志はLinks　Niseko合同会社を設立したが、ポテトペーストを売っているだけでは企業を維持するだけの収益が得られない。そこで、Links　Nisekoを支えられる商品の開発が求められた。

そこで、ただ製造・販売するものを具体的に決めてから農高生と協働するのではなく、企画段階からマーケティング活動も含めて一緒にゼロから創り上げて行く事を、私（脇山）が提案した。農高生に初歩的なマーケティングメソッドの授業をし、アンケート調査や競合商品の調査、試食品モニター等の活動を通じて、ニセコモンテバーを開発した。その地域にはその地域独自の青少年育成があるべきで、それは基本的な知識は学校で教えるとしても、もっと地域の大人達がそれぞれの地域性や職業的優位性を持って、経験・体験的な側面から、育成をサポートすることが肝要ではないか。

この倶知安じゃがを原料としたニセコモンテバーは、野外で食べやすいスポーツスナック。長さ12cm、１本でおよそ140kcalを補えます。倶知安のポテトペーストに、ニセコ町のおから、米どころ蘭越町から米粉、京極町の人参、余市町で育ったプルーンを、独自の比率で混ぜ込み焼きあげクルミを除き、後志エリア５つの町の農産物がモンテバーの主原料で、バターも道内産を使用しております。こうして、食品添加物を使わず、小ロット生産とし、羊蹄山の周辺５町の農産品を使い、「アウトドアスポーツをする人がカロリーを補うスナック」という商品の利用シーンや顧客像などを設定し試行錯誤を経て完成したのが「ニセコモンテバー」です。

●スポーツスナック
NISEKO MONTE BAR

●蝦夷富士を浮世絵風に配したデザイン。

■出席委員会■

・平成26年９月26日

会員総数　74名　　本日の欠席者　15名

荒田、安部、石上、小笠原、桂、角野、佐藤(友)、坪井、永原、野村、廣部、前川、村越、山田(正)、米山

・平成26年９月12日

会員総数	74名	出席摘要免除者	16名
病欠者数	０名	出席計算員数	名
ホーム欠席者数	13名	メーキャップ	３名
純欠席者数	10名	確定出席率	85.52%

■メーキャップ■

９/12　白石（小樽ＲＣ）、小笠原（小舅の会）

９/６　新倉（歴代会長会議）

９/11　山田（正）（旭川東ＲＣ）９/26桂（小樽ＲＣ）

●記事担当/坂口会員